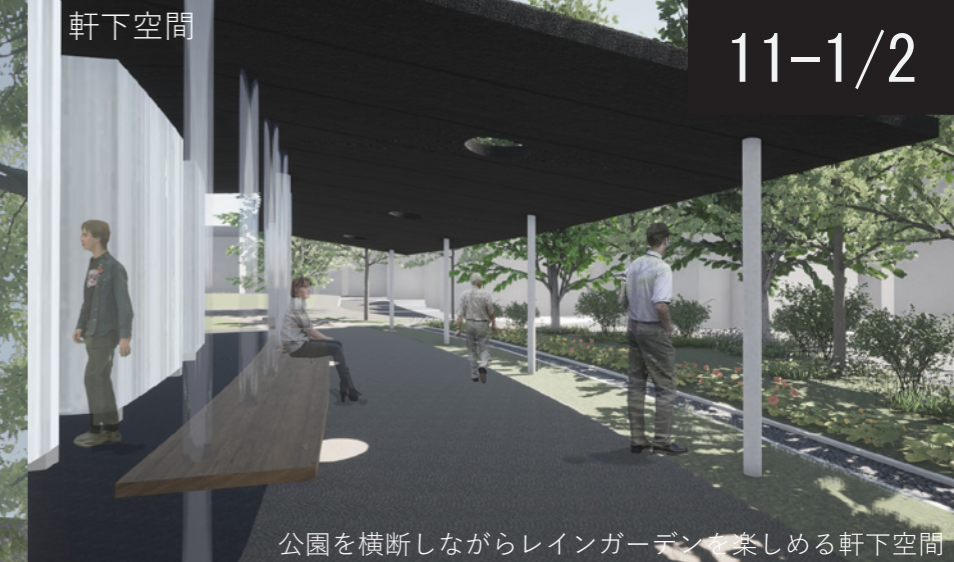


# SUMIDA

大学とまちをつなぐトイレ

# PIPE



公園を横断しながらレインガーデンを楽しむ軒下空間



天窓から江戸切子の文様の光が差し込む



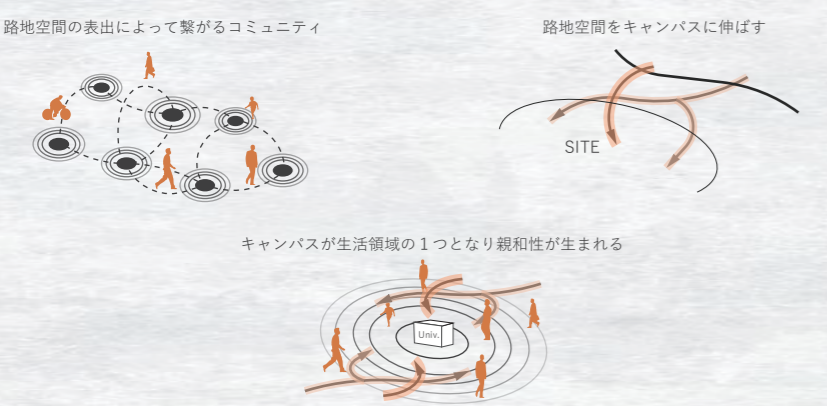
行灯の様に公園を灯す

大学の敷地に公共トイレを置くことは、大学をまちに開く社会的な意思表示であり、公共トイレ自体がそのシンボルの一つとなる。まちに開いた大学を実現するための1つの装置となり、UDC すみだのコンセプトである地域と大学の交流促進のきっかけとなることを目指す

## 路地の生活領域の表出

Expression of the living area of the alley

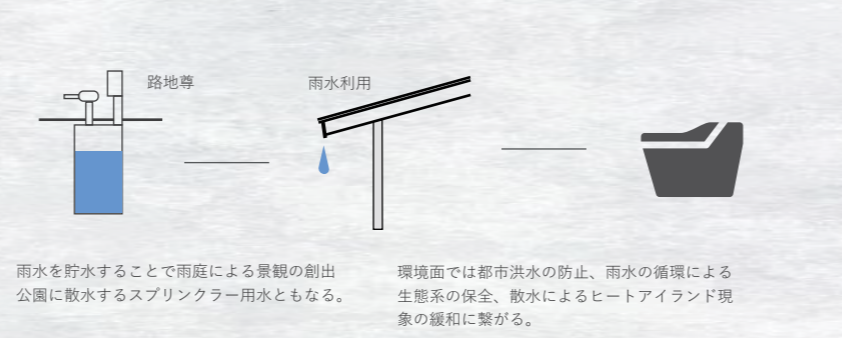
敷地である墨田区には、路地空間に生活・暮らしが表出することによって生まれる地域コミュニティがある。この墨田区の特徴である路地空間をキャンパスに拡張することで大学の通りとまちの通りを曖昧にする。敷地まで入り込んだ路地空間は使用者に親和性を与え、公共トイレを日常で大事にする生活領域の一つとして認識する。



## 雨水の活用 × 路地尊

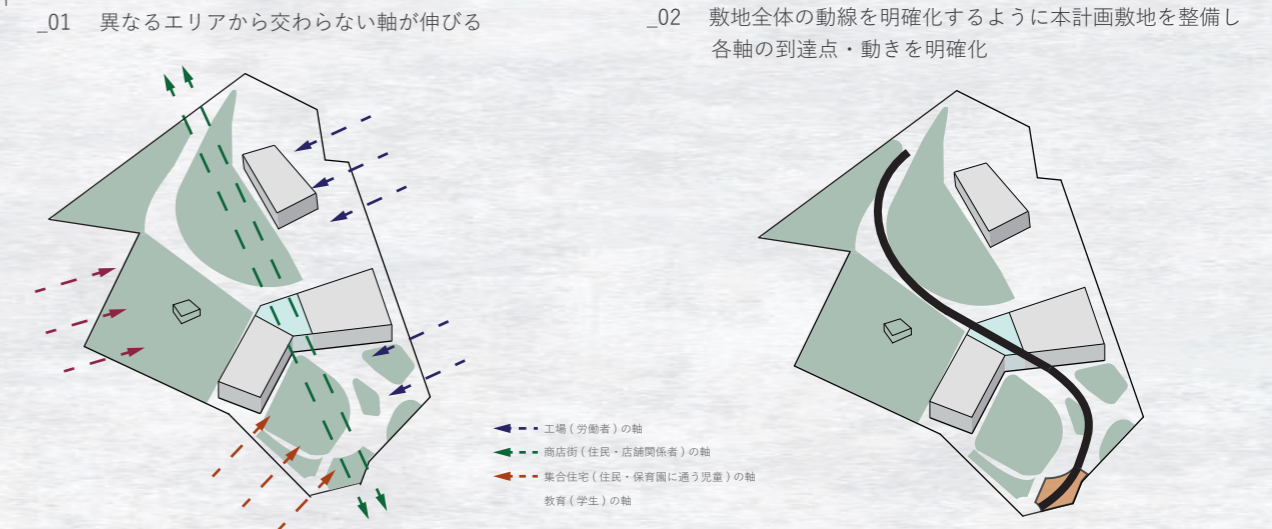
Utilization of rainwater × Rojison

路地でのコミュニティを大事にする墨田区民の生活様式の一つに路地の安全を守るシンボルである”路地尊”がある。地域のコミュニティの場であり、災害時には避難路になる路地を大切にしながら自分たちの手でまちを守ろう」という考えから、その名が付けられた。また、近隣の住宅の屋根に降った雨を集水して、地下のタンクに貯めて野菜や草花を育てる生活水として利用する。本計画ではこの雨水を活用する生活を取り入れた災害時でも雨水利用によって、使用可能な公共トイレを提案する。



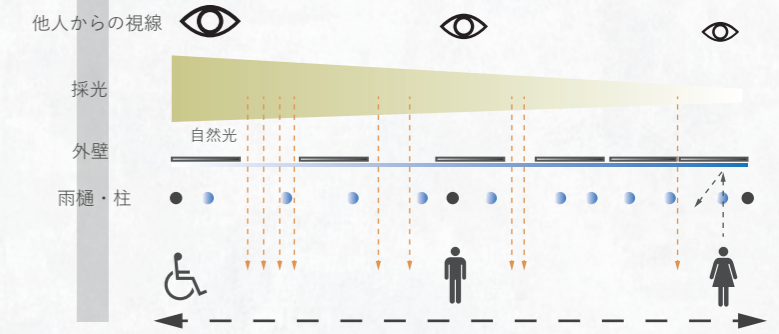
## ランドスケープダイアグラム

Landscape diagram

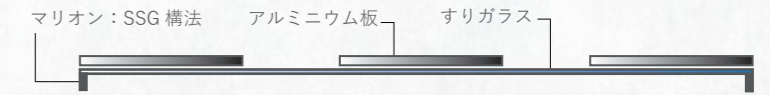


各個室のプライバシーの確保の重要性から採光・視線を雨樋・外壁・柱で操作する。

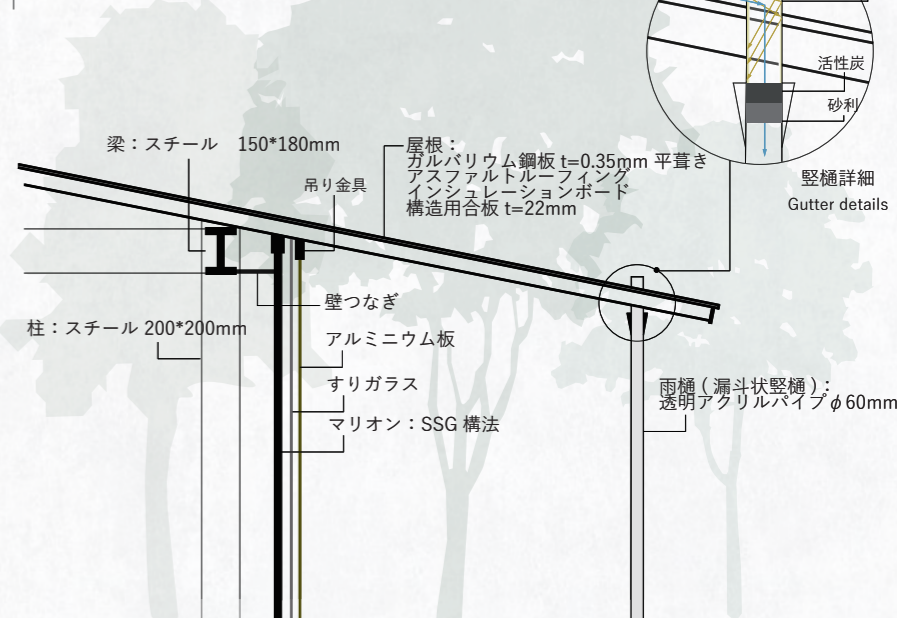
プライバシー性



外壁詳細ダイアグラム  
Exterior wall detailed diagram

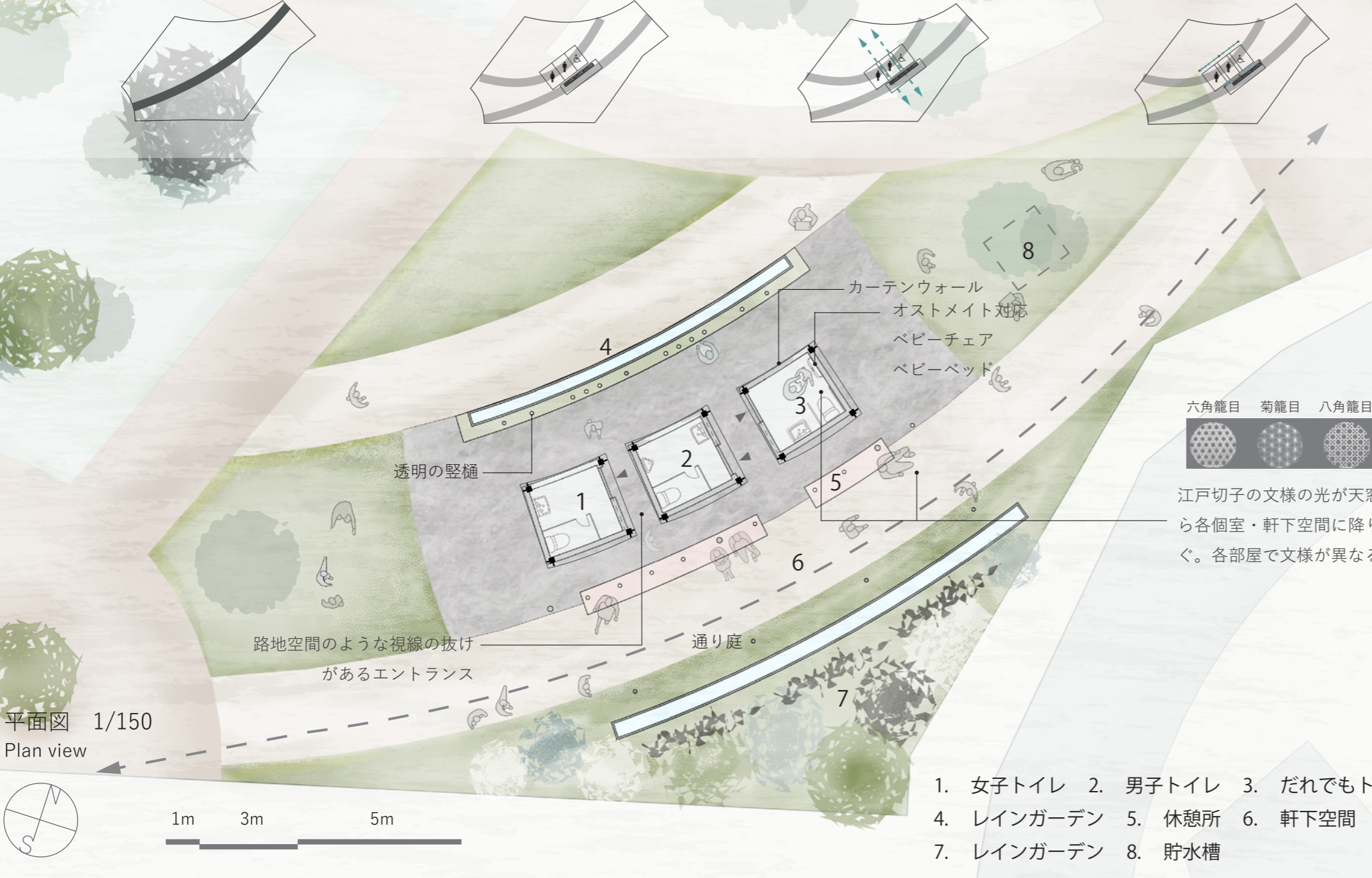


構法詳細ダイアグラム  
Detailed construction diagram



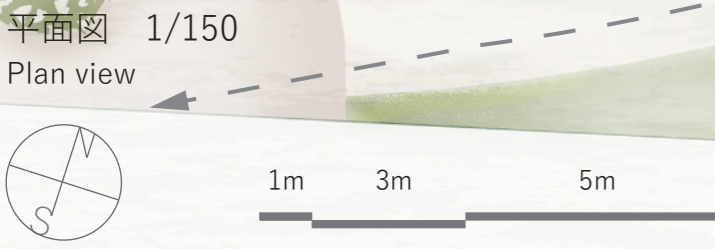
形態ダイアグラム  
Morphological diagram

- \_01 敷地全体の動線を明確化する軸を元に配置計画を行う
- \_02 軸状にトイレ動線・敷地の通り抜け動線を配置 動線上にトイレ・休憩所を配置
- \_03 路地のような視線の抜けを作り、安全性を確保
- \_04 各室のプライバシー確保の重要性を柱・雨樋・家具の配置で調整

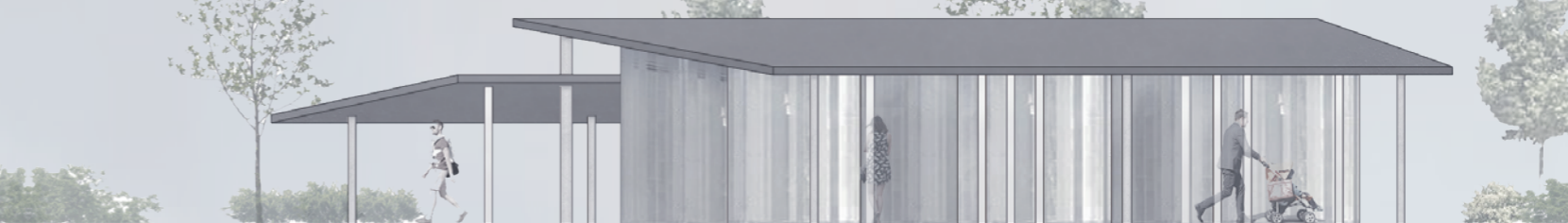


江戸切子の文様の光が天窓から各個室・軒下空間に降り注ぐ。各部屋で文様異なる。

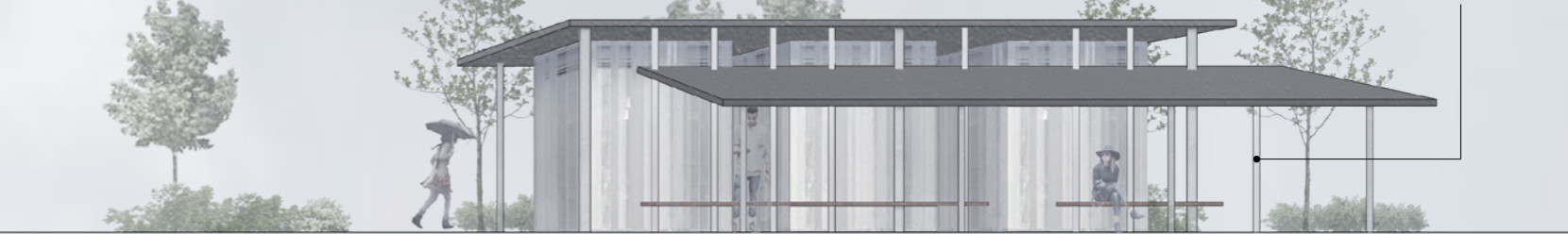
- 1. 女子トイレ 2. 男子トイレ 3. だれでもトイレ
- 4. レインガーデン 5. 休憩所 6. 軒下空間
- 7. レインガーデン 8. 貯水槽



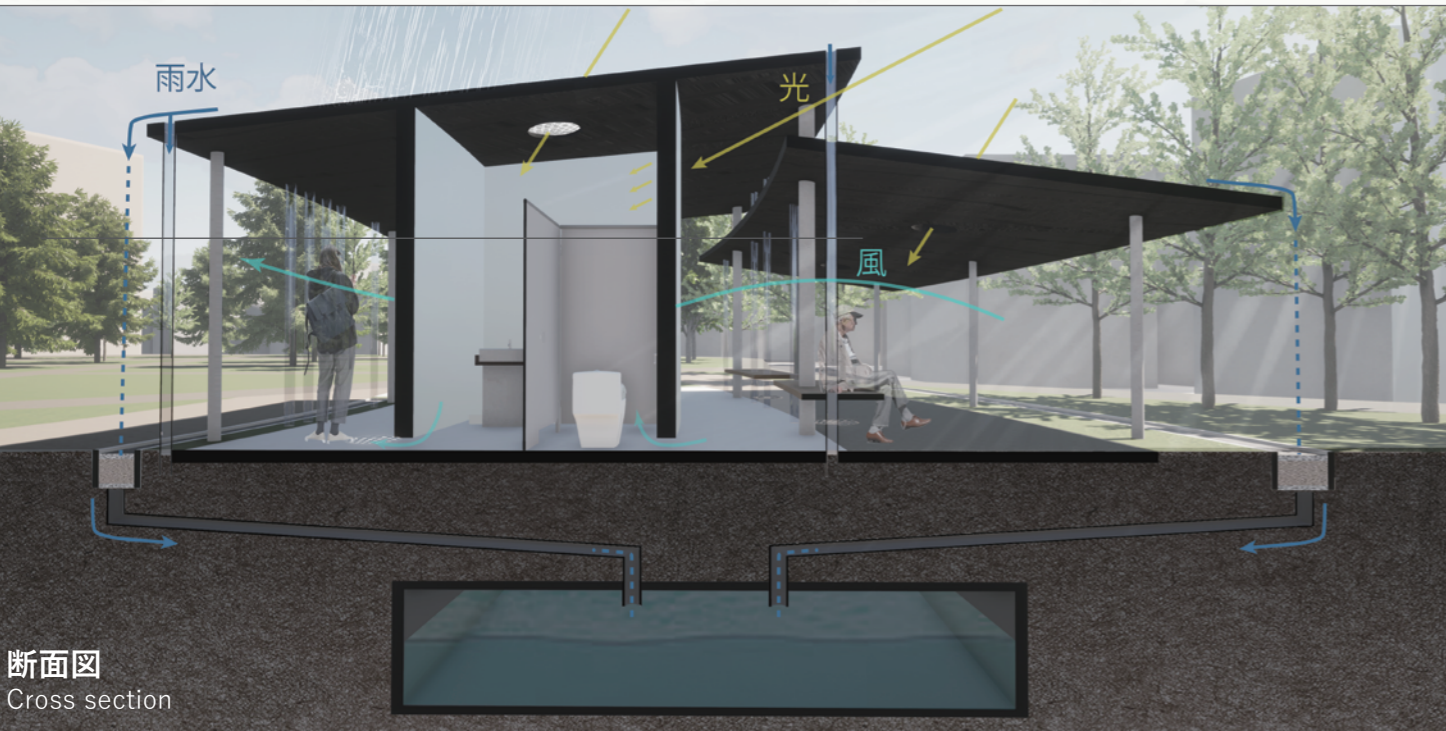
北側立面図  
North elevation



南側立面図  
South elevation



縦樋は雨の日、雨水を筒中に流し貯水槽へと集水する水のパイプとなり 晴れの日には自然光を筒中で反射させ光るパイプとなる。



断面図  
Cross section